

ブッポウソウが見ごろです

ウェットランドにはブッポウソウ用の巣箱が五つ架けられており、フレントリ館からはそのうちの二つを観察することができます。6月22日のふれあいウォーキングでは大勢の方が来館されましたが、おそらくまだ抱卵中で、親鳥の姿を見ることができなかったと思います。皮肉なことに、翌日から頻繁



に巣箱の上にとまるようになりました。雛がかえって、餌運びが始まったのでしょう。7月下旬の巣立ちのころまで、容易に観察することができます。

巣立ちが近づくころには、ときどき雛が巣箱から顔を出します。一昨年、始めてその光景を目にしたのですが、意外にも雛のくちばしはまっ白でした。あの鮮やかな赤い色に、いつごろ染まっていくのでしょうか。

ブッポウソウがやって来るのは、毎年5月の初めころで、2～3週間はずがいで頻繁に巣箱の上にとまります。巣箱を確保しても、すぐに産卵するわけではないようです。はるばる東南アジアから渡ってきたのですから、まずは体力回復ということでしょう。渡り鳥は、渡りの前後で体重が半減するものもあるそうです。